

寄せられた意見	意見に対するコメント
<p>イルミネーションの設置（野馬追をモチーフにしたイルミネーションなど）をすると南相馬市の文化を生かすことができ、地域おこしにもつながります。</p>	<p>市では広報誌や回覧板、新聞折り込みなど紙面での広報のほかホームページやSNSなども活用し広く周知が図られるよう広報に努めているところです。今後も皆さんに伝わりやすい広報に努めてまいります。</p> <p>また、野馬追以外にもサマーフェスティバルやサムライフェス、騎馬武者ロックなど多くのイベントが開催されております。多くの皆さんに参加いただきイベントを盛り上げていただければと思います。</p>
<p>○南相馬市の病床数や医療従事者の減少について</p> <p>①従事者不足についての改善策の提案 医療従事者を増やすには、今の南相馬市の医療の現状をいろんな人に知ってもらうことで少しでも医療に興味を持つもらったり、周知が増えたら将来、医療関係の職に就きたいという人が増えると思います。特に、中学生や高校生を対象とした講演会や体験などを増やすと良いと思います。</p> <p>②医療を中心とした町づくりへ 医療従事者が減少し、診療科がとても少なくなり、行きたい診療科に行きたくても困難である今の状況は医療中心の町づくりとはなっていないと思います。 例えば、南相馬市の特徴を生かし、ロボットテストフィールドで医療機器をつくり、医療者不足を改善する。また、南相馬市の医療の現状をもっと多くの人に知ってもらうために、講演会やポスターの設置をするなど実施すると良いと思います。</p>	<p>医療従事者不足の改善策や医療を中心とした町づくりについて、ご提案をいただきありがとうございます。</p> <p>①南相馬市では、震災後の現状を様々な人に知っていただくため「南相馬市の現況と発展に向けた取組」という冊子を作成し、医療従事者不足の現状についても周知を行っています。 また、県外の看護学校等を訪問し南相馬市の現状を伝えながら、将来、南相馬市で働いてもらえるように説明等を行っています。 さらには、南相馬市内の中学校や相馬地方の高校を訪問し「看護師の仕事を学ぶ学習会」や「医療職に関する説明会」を開催し、医療の仕事に興味を持っていただく機会を設け、特に高校生への説明会については令和6年度より2回から4回に回数を増やしたところです。</p> <p>②市内に不足する診療科の確保については、新たに診療所等を開設する場合に活用できる補助金の制度を設けるなどの取り組みを行っており令和6年度には、新たに小児科の開設に至りました。 ご提案のありましたロボットテストフィールドの活用については、現在、歩行を支援するなどリハビリでの活用が期待される機器や、重い荷物を楽に運ぶことができるマッスルスーツのほか、荷物を自動で運搬する自走式ロボットなど、将来、医療現場での活躍が期待される研究や開発も行われています。 これらにおいては、不足する医療従事者の負担軽減や医療サービスの向上にもつながることが期待されます。</p> <p>今後も、市民の皆様が安心して医療サービスを受けることができるよう、引き続き周知も含め取り組んでまいります。</p>
<p>市内に家を建てる人への補助金を増やせば、住む人が多くなるのではないか</p>	<p>市では、市外から移住する若い夫婦世帯、18歳以下の子供が3人以上いる子育て世帯、親子と祖父母が一緒に暮らす世帯、祖父母の近くに居住予定の世帯が、家を建てた・家を購入した場合に、申請により補助金（奨励金）を交付し新たな移住者の獲得と・市民の定住を促進しております。</p>
<p>農業産出額が減少していることが課題だと思います。もっと身近な場所で販売することで買うことが増えると思うので、身近な場所で販売してほしいです。例えば、学校で販売することで生徒を迎えてきた保護者の方がスーパーに行かないでその場で南相馬市の野菜を買ることができます。また、販売する前の日から買いたいもののを決めてもらい予めお金を払うことで必要な農産物の量が分かるのでこのような買い方もいいと思います。</p>	<p>市では、田んぼや畠の区画を大きくする工事やきゅうりなどを栽培する施設を整備して、農業産出額を増やす取り組みを進めています。 学校など身近な場所での販売は、生産者と販売者が、販売する日、栽培品目、生産量をあらかじめ決めて、見込まれる販売額も想定しておく必要があります。関係者どうしが調整しなければならないことがたくさんありますので、関係者の意見が合えば販売できると思います。ご意見ありがとうございます。</p>

<p>農業系の大学に南相馬市での農業を直接勧めに行けば南相馬市で農業をする若者が多くなると思う</p>	<p>農業系の大学で南相馬の農業をPRすることも、農業人材を確保する有効な手段の1つだと思います。現在は、農業をやりたい人が集まる展示会で、南相馬市の農業をPRしています。その結果、令和6年度は、定員いっぱいの15人が、市が開校した農業学校に入学して、1年間勉強しています。来年には、この入学生たちが卒業し、南相馬市の田んぼや畑で活躍することが期待されています。ご意見ありがとうございました。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・お祭り（市内で）があるとき、みんなが知れるような宣伝をしてほしい。</li> <li>・お祭りの規模を大きくしたい。（野馬追以外の）</li> <li>・もっと色々なイベントを増やしたり、注目されるようなイベントをつくる。</li> <li>・学生が自ら動かすイベントをする。</li> </ul>	<p>市では広報誌や回覧板、新聞折り込みなど紙面での広報のほかホームページやSNSなども活用し広く周知が図られるよう広報に努めているところです。今後も皆さんに伝わりやすい広報に努めてまいります。また、野馬追以外にもサマーフェスティバルやサムライフェス、騎馬武者ロックなど多くのイベントが開催されております。多くの皆さんに参加いただきイベントを盛り上げていただければと思います。</p>
<p>小高に移住してきた人達との交流の場がほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域おこし協力隊として小高区に移住した醸造家・ヨガインストラクター・革靴職人などの起業家は、小高区で開催される「小高つながる市」に出展してますので、そこで交流する機会があります。</li> <li>●起業家や起業を目指している人が、市内でイベントを開催しています。「NextCommonsLab南相馬」のインスタアカウントをフォローしてイベント情報をチェックしてみてください。</li> <li>●そのほか、小高区や南相馬市に移住した人と地域の人が交流する「地域交流イベント（流しそうめん・芋煮会・スポーツなど）」を「移住相談窓口よりみち」にて定期的に開催しています。こちらも「南相馬よりみち」のインスタアカウントをフォローして、ぜひ交流イベントに参加してみてください。</li> </ul>